

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
0 建築物の環境品質								3.2
Q1 室内環境			0.40					3.2
1 音環境		2.6	0.15	-	-			2.6
1.1 騒音		3.0	0.40	-	-			
1.1.1 室内騒音レベル		3.0	1.00	-	-			
1.1.2 設備騒音対策		-	-	-	-			
1.2 遮音		3.0	0.40	-	-			
1.2.1 開口部遮音性能		3.0	1.00	-	-			
1.2.2 界壁遮音性能		-	-	-	-			
1.2.3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-	-	-			
1.2.4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-	-	-			
1.3 吸音		1.0	0.20	-	-			
2 温熱環境		2.3	0.35	-	-			2.3
2.1 室温制御		3.1	0.50	-	-			
2.1.1 室温		3.0	0.50	-	-			
2.1.2 負荷変動・追従制御性		-	-	-	-			
2.1.3 外皮性能	断熱材を強化し、外皮性能を上げている	4.0	0.17	-	-			
2.1.4 ゾーン別制御性		3.0	0.33	-	-			
2.1.5 温度・湿度制御		-	-	-	-			
2.1.6 個別制御		-	-	-	-			
2.1.7 時間外空調に対する配慮		-	-	-	-			
2.1.8 監視システム		-	-	-	-			
2.2 湿度制御		1.0	0.20	-	-			
2.3 空調方式		2.0	0.30	-	-			
3 光・視環境		4.0	0.25	-	-			4.0
3.1 昼光利用		5.0	0.50	-	-			
3.1.1 昼光率		-	-	-	-			
3.1.2 方位別開口		-	-	-	-			
3.1.3 昼光利用設備	トップライトを複数設置し、積極的な昼光利用をしている	5.0	1.00	-	-			
3.2 グレア対策		-	-	-	-			
3.2.1 照明器具のグレア		-	-	-	-			
3.2.2 昼光制御		-	-	-	-			
3.2.3 映り込み対策		-	-	-	-			
3.3 照度		-	-	-	-			
3.4 照明制御		3.0	0.50	-	-			
4 空気質環境		4.0	0.25	-	-			4.0
4.1 発生源対策		4.0	0.50	-	-			
4.1.1 化学汚染物質	F をほぼ全面的に採用している	4.0	1.00	-	-			
4.1.2 アスベスト対策		-	-	-	-			
4.1.3 ダニ・カビ等		-	-	-	-			
4.1.4 レジオネラ対策		-	-	-	-			
4.2 換気		4.0	0.30	-	-			
4.2.1 換気量		3.0	0.50	-	-			
4.2.2 自然換気性能		-	-	-	-			
4.2.3 取り入れ外気への配慮	給気口は各種排気口と異なる方で、かつ6m以上離れて設置	5.0	0.50	-	-			
4.2.4 給気計画		-	-	-	-			
4.3 運用管理		4.0	0.20	-	-			
4.3.1 CO <sub>2</sub> の監視		3.0	0.50	-	-			
4.3.2 喫煙の制御	全館禁煙としている	5.0	0.50	-	-			
Q2 サービス性能			0.30	-	-			3.7
1 機能性		4.1	0.40	-	-			4.1
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	-	-			
1.1.1 広さ・収納性		-	-	-	-			
1.1.2 高度情報通信設備対応		-	-	-	-			
1.1.3 バリアフリー計画		3.0	1.00	-	-			
1.2 心理性・快適性		4.6	0.30	-	-			
1.2.1 広さ感・景観	平均天井高:3.80m	5.0	0.33	-	-			
1.2.2 リフレッシュスペース	レストスペース:151.75㎡、売り場面積の4.152%	5.0	0.33	-	-			
1.2.3 内装計画	間接照明や色温度の計画をするなど内装に配慮	4.0	0.33	-	-			
1.3 維持管理		5.0	0.30	-	-			
1.3.1 維持管理に配慮した設計	内外装材共、防汚性に配慮している	5.0	0.50	-	-			
1.3.2 維持管理用機能の確保	掃除用具室、SKに専用の掃除用流しを設けている	5.0	0.50	-	-			
1.3.3 衛生管理業務		-	-	-	-			
2 耐用性・信頼性		3.1	0.31	-	-			3.1
2.1 耐震・免震		3.0	0.48	-	-			
2.1.1 耐震性		3.0	0.80	-	-			
2.1.2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-			
2.2 部品・部材の耐用年数		3.0	0.33	-	-			
2.2.1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.23	-	-			
2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.23	-	-			
2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.09	-	-			
2.2.4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.08	-	-			
2.2.5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水:VP:B、汚水、雑排水:VP:B、Eは不使用	5.0	0.15	-	-			
2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.23	-	-			

2.4 信頼性			3.6	0.19	-	-	
1	空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	
2	給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-	
3	電気設備	無停電電源設備の設置、電源設備等の地下空間への設置を回避	5.0	0.20	-	-	
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
5	通信・情報設備	光ケーブル、マルチケーブルなど通信多様化、精密機械を地下空間に設置していない	4.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性			3.7	0.29	-	-	3.7
3.1 空間のゆとり			5.0	0.31	-	-	
1	階高のゆとり	平均階高: 4.39m	5.0	0.60	-	-	
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率: 0.08	5.0	0.40	-	-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.31	-	-	
3.3 設備の更新性			3.4	0.38	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.17	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.17	-	-	
3	電気配線の更新性	EPS、ケーブルラック等により構造部材だけでなく、仕上げ材を痛めることなく電気配線の更新・修繕ができる	5.0	0.11	-	-	
4	通信配線の更新性	EPS、ケーブルラック等により構造部材だけでなく、仕上げ材を痛めることなく通信配線の更新・修繕ができる	5.0	0.11	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.22	-	-	
6	バックアップスペース		3.0	0.22	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.7
1 生物環境の保全と創出			3.0	0.30	-	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮			2.0	0.40	-	-	2.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.5	0.30	-	-	3.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上	庇で雨宿りが出来、夜間照明、防犯カメラの設置	5.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.8
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	4.0
1 建物の熱負荷抑制		PAL低減率 (380-332.7) / 380 = 12.44%	3.7	0.30	-	-	3.7
2 自然エネルギー利用			4.0	0.20	-	-	4.0
2.1	自然エネルギーの直接利用	トップライトを積極的に設置し、自然採光を利用している	4.0	0.50	-	-	
2.2	自然エネルギーの変換利用	太陽光を利用している	4.0	0.50	-	-	
3 設備システムの高効率化		LED照明を採用	5.0	0.30	-	-	5.0
集合住宅以外の評価 (ERRによる評価)		ERR=48.2%	4.0	-	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.7
1 水資源保護			3.4	0.15	-	-	3.4
1.1	節水	節水コマなどに加えて、節水型機器、自動水栓等を採用している	4.0	0.40	-	-	
1.2	雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.67	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.33	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.8	0.63	-	-	3.8
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.07	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.25	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.21	-	-	
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	再生骨材の路盤材利用、陶磁器タイル、集材材、パーティクルボード、木質系セメント板	5.0	0.21	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		-	-	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	躯体+LGS+仕上げとし躯体と仕上材が容易に分別・取外しが可能	5.0	0.25	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.6	0.22	-	-	3.6
3.1	有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.32	-	-	
3.2	フロン・ハロンの回避		4.0	0.68	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)	発泡剤を用いた断熱材等を使用していない	5.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.8
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2 58%	4.6	0.33	-	-	4.6
2 地域環境への配慮			3.6	0.33	-	-	3.6
2.1	大気汚染防止	燃焼機器を使用していない	5.0	0.25	-	-	
2.2	温熱環境悪化の改善		3.0	0.50	-	-	
2.3	地域インフラへの負荷抑制		3.7	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	附置義務による台数の設置、荷捌スペース確保、出入口位置に配慮	5.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制	ゴミの種類や量を推計し、室内にゴミの分別回収ボックス、ストックスペースを計画	4.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33	-	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	1.00	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害・砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		-	-	-	-	
3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			4.4	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	「光害対策ガイドライン」のチェックリストの項目の過半満たし、「広告物照明の扱い」の配慮事項の過半を満たしている	5.0	0.70	-	-	
2	壁光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	